

令和3年度 ゆずの樹はうす 事業計画書

1 はじめに

職員の確保に努め、緊急時の受け入れを充実することを目標とする。また、一人ひとりの特性や嗜好を把握し、利用者が安心して利用できるよう支援を行う。

2 事業概要

- 1) 施設名 ゆずの樹はうす
- 2) 事業種別 短期入所事業（グループホーム併設型）
- 3) 所在地 東京都小平市栄町2丁目
- 4) 運営主体 社会福祉法人 未来
- 5) 利用定員 1名
- 6) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 7) 事業開始年月日 令和3年4月1日
- 8) 職員 管理者 1名
生活支援員 1名以上

3 基本理念 一人ひとりの自己実現の支援

互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築
安心と希望のもてる生活

4 基本方針

1) 一時的な生活支援

家族または介護者が何らかの理由（冠婚葬祭、病気、事故、休養、その他の理由）により、一時的に自宅で支援することが困難な場合に、日常生活に必要な支援を行う。

2) 生活体験としての支援

生活体験の幅を広げ、より豊かな生活を支援する。

5 実施事業（活動内容）

- 1) 居室の提供
- 2) 食事の提供
- 3) 洗濯、掃除等の生活支援
- 4) 健康管理
- 5) 日中活動先（福祉サービス及び職場等）、関係機関との連絡、調整
- 6) 入浴等生活行為の支援
- 7) その他日常生活に必要な支援

6 日 課

- | | | |
|---------|--------|----------------|
| 5時00分～ | 7時30分 | 起床 |
| 7時30分～ | 9時30分 | 日中活動先及び勤務先等へ外出 |
| 16時00分～ | 17時00分 | 利用開始 |
| 16時00分～ | 20時00分 | 入浴 |
| 18時00分～ | 19時00分 | 夕食 |
| 20時00分～ | 22時00分 | 就寝 |

7 重点課題・目標

1) 活動

(1) 365日の支援体制を整備し、緊急対応の支援を行うことでセーフティネット機能の役割を果たす。

併設しているグループホームの支援体制とあわせて職員確保を行い、グループホーム職員との連

携により、重層的な支援を行うことで、緊急時対応を行う。

(2) 体験利用者の支援内容を充実する

利用時の支援状況や利用者の様子及び行動等を丁寧に記録し支援内容の充実を図る。

(3) 利用者が安心して利用できる環境をつくる

- ① 利用前に本人、家族から状況や要望の聴取を行った上、アセスメント情報や申し送りによって、確実な情報を職員間で共有することで円滑な支援を実施する。
- ② 利用後に利用時の様子を報告し、意見や感想を聴取することで支援の評価をおこなうとともに、次回の支援に役立てる。
- ③ 事故防止を徹底する
 - ・服薬管理方法等のマニュアルを遵守し、誤薬等の事故を防止する。
 - ・無断外出行為のある利用者に対し、見守り及び建物内の施錠を徹底する。

2) 人材育成

(1) 新任管理職の育成・指導

管理職を中心に、職員への引継ぎ及び周知事項等の伝達を徹底し、職員の業務の標準化を図る。

(2) 職員間の連携・情報共有により支援の統一を図る

ケース記録・業務日誌・引継ぎノートへの記入の精度を向上し、確認を徹底することで、支援の統一を図る。

3) 経営管理

(1) 月次試算を正確に行い、計画的に予算を執行する。

(2) 介護給付費収入等の安定確保を行う。

・目標利用率： 80% (平日95%、休日50%)

【令和3年度目標額】

・介護給付費収入 約230万

・都加算収入 約110万

約340万

8 夜間等緊急時の対応

夜間等支援者が少ない状況下で緊急的に支援が必要となった場合は、併設しているホームの職員の緊急時連絡網により支援態勢の確保を行う。

9 環境の整備

施設内外の美化と利用者周辺の整理整頓につとめ、危険の防止に努める。

10 健康管理

- 1) 新型コロナウイルス感染症等の感染症対策を徹底する。
- 2) 関係事業所や家族との連携を密にし、健康状態の把握に努める。

11 防災計画

管理者の指揮のもとに、併設のグループホームとともに非常災害訓練を年2回実施する。

総指揮	管理者
連絡担当	生活支援員
救助担当	生活支援員

12 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかなう。